

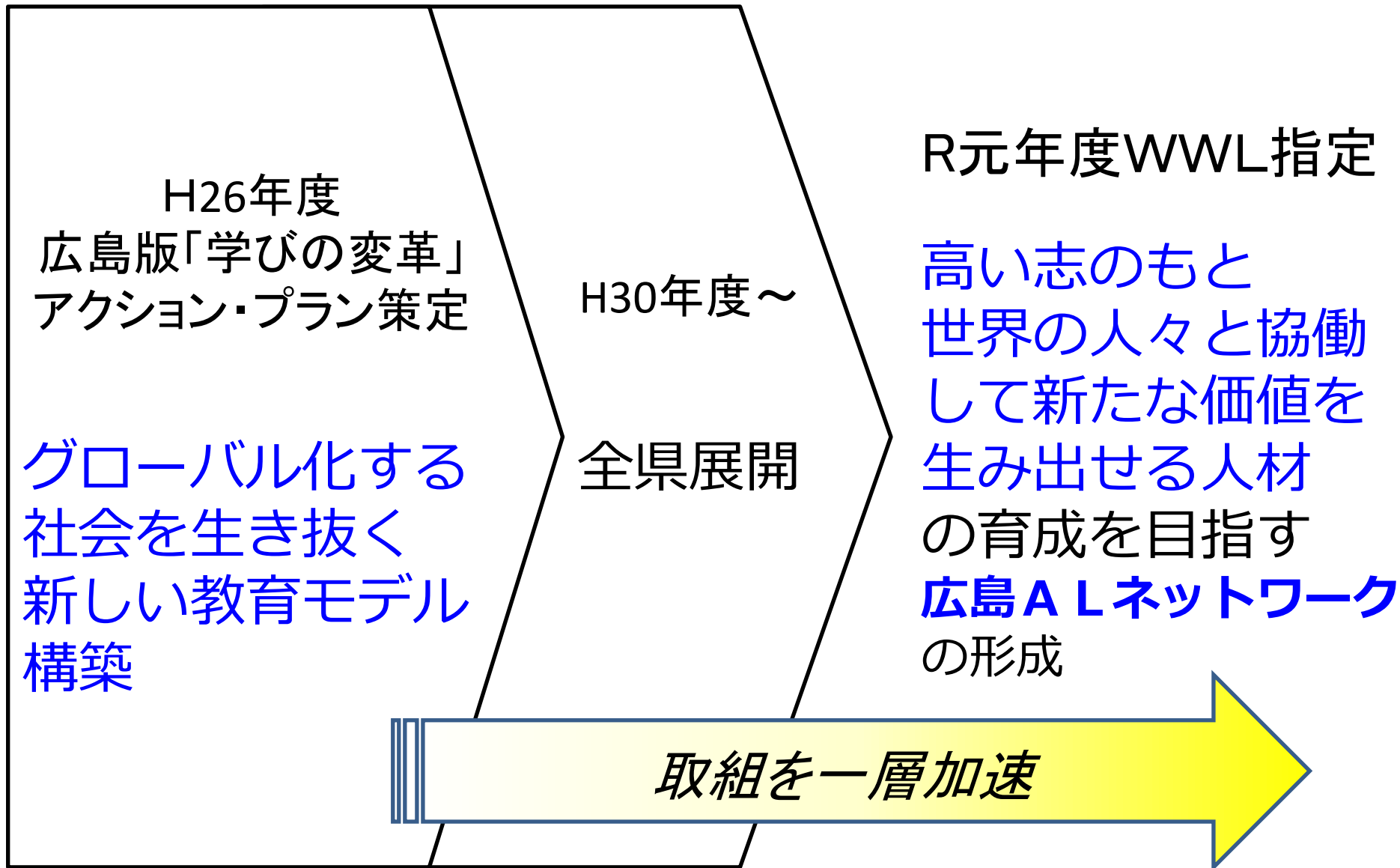
WWLコンソーシアム構築支援事業

広島 A L (アドバンスト・ラーニング) ネットワークの取組

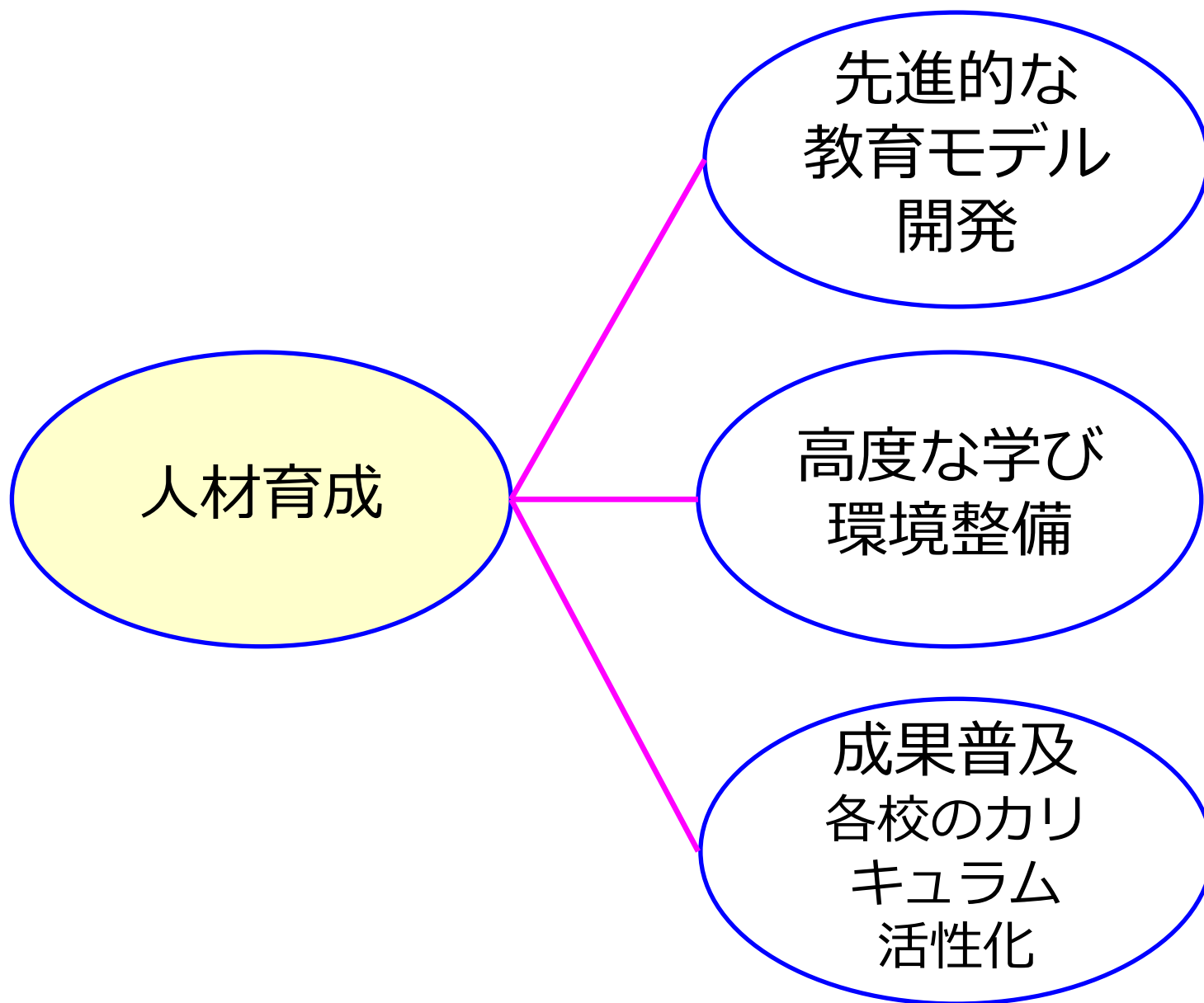


令和元年10月23日
広島県教育委員会

(1) 事業目的 本事業の位置付け

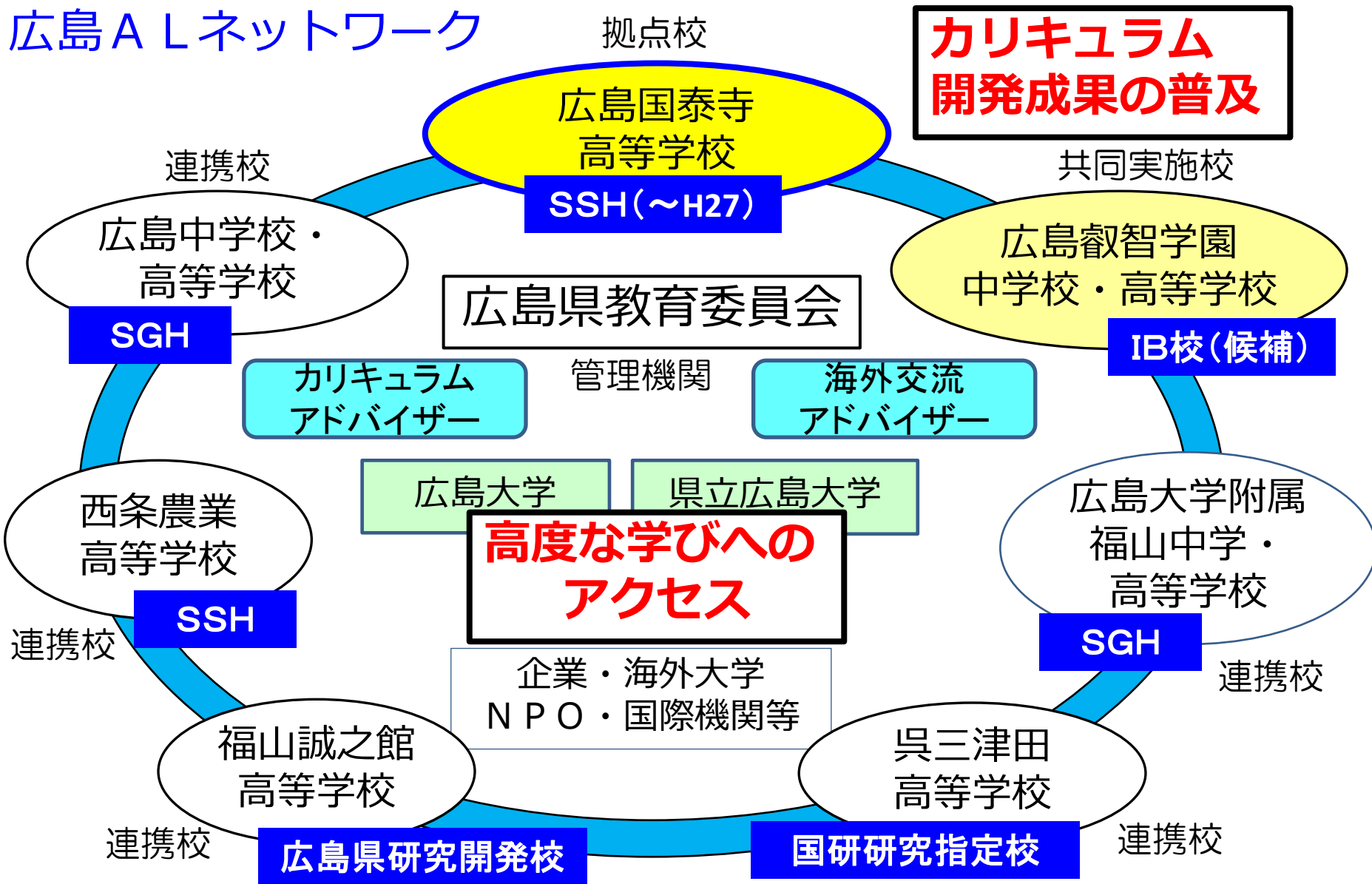


(1) 事業目的 広島A Lネットワークが目指すこと



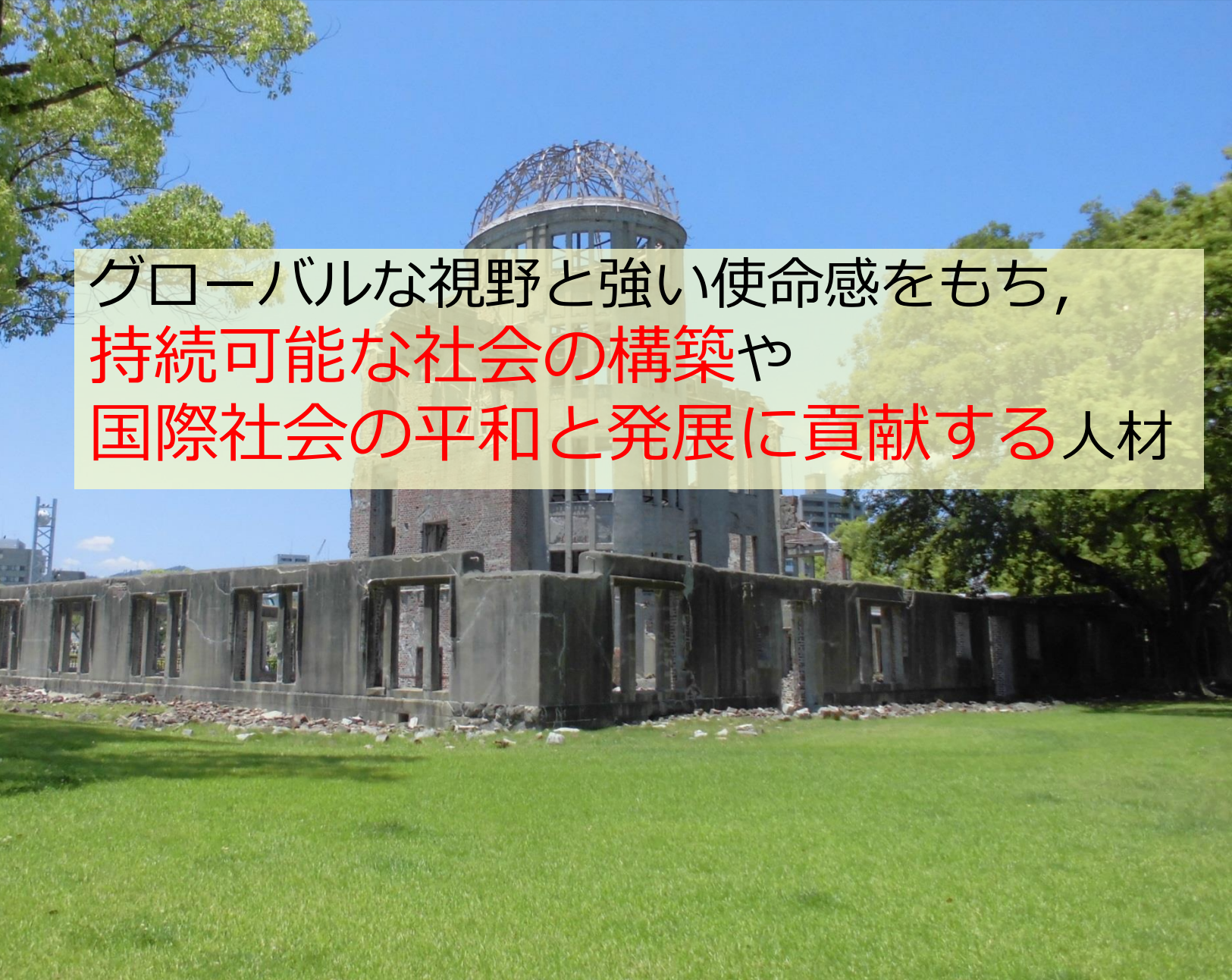
(1) 事業目的 広島A Lネットワークの形成

広島A Lネットワーク



(2) 育成を目指す人材

広島という場所だからこそのことができる
グローバル人材の育成



グローバルな視野と強い使命感をもち、
持続可能な社会の構築や
国際社会の平和と発展に貢献する人材

(2) 育成を目指す人材 資質・能力

育成を目指す資質・能力等

資質・能力	(社会・対象を多面的に捉え) 主体的に問題を発見する力
	問題の解決に向けて粘り強く探究する力
	多様な他者と協働して問題を解決する力
心構え・ 考え方・ 価値観	地球市民的視点から自分との関わりで考えること
	異文化への寛容さと変化を前向きに捉えること
	異なる意見の他者からも信頼されること

(2) 育成を目指す人材 資質・能力

知識	知識・技能
スキル	課題発見・解決力
	言語・コミュニケーション能力
	批判的・論理的思考力
心構え・ 考え方・ 価値観	イノベーション
	オープンマインド
	グリット

(3) 広島ALネットワークで取り組むプログラム

教育課程内	「総合的な探究の時間」の カリキュラム開発
	文理融合的なカリキュラム開発 ----- 文理教科・外国語を融合させた 教科・科目
教育課程外	海外研修
	課外活動
	先取り履修・高度な学び

各取組が相互に関連をもつ

平和をテーマとした
高校生国際会議(R3年)

(3) 広島ALネットワークで取り組むプログラム

グローバルな視野と強い使命感をもって持続可能な社会の構築や国際社会の平和と発展に貢献する人材を育成

令和4年度以降

独自のカリキュラム

より高度な学び
より幅広い経験を伴う学び
多様な他者との協働的な学び

企業との連携

海外大学との連携

国内大学との連携

ベースカリキュラム

令和3年度まで

(教育課程外)

国際会議
高校生

広島国泰寺高校

課外活動

広島中・高

広島県教育委員会

広島叡智学園
中・高

より高度な学び
の環境整備

西条農業高校

県立広島大学

広島大学

広島大学附属
福山中・高

アドバンス
ト
ブ
レ
イ
ス
メ
ン
ト

海外大学

海外研修

呉三津田高校

国際機関

NGO

企業

福山誠之館高校

独自科目の設定

(教育課程内)

総合的な探究の時間


外国語と文理教科
との融合科目

(教育課程外)

テーマ

平和 – Peace –

- ・「国際平和拠点ひろしま構想」の実現に貢献
- ・拠点校が継続的に取り組んできたテーマ
- ・幅広い視点からアプローチできるテーマ



SDGsを切り口に
核軍縮・戦争だけに
特化せず

(4) 拠点校の文理・外国語融合科目

科目「グローバル平和探究」 教科「HEIWA」

〔目標〕

世界で起こっている様々な社会課題を理解し探究する。



問題の理解や解決に様々なアプローチができるテーマについて、理解を深め、実際の探究を通して多面的に探究する手法や多様な表現方法を学ぶ。

多様な他者との英語でのコミュニケーション

外国語

「平和」につながる持続可能な社会の構築

地理, 政治・経済

データの分析・活用

情報, 数学(統計)

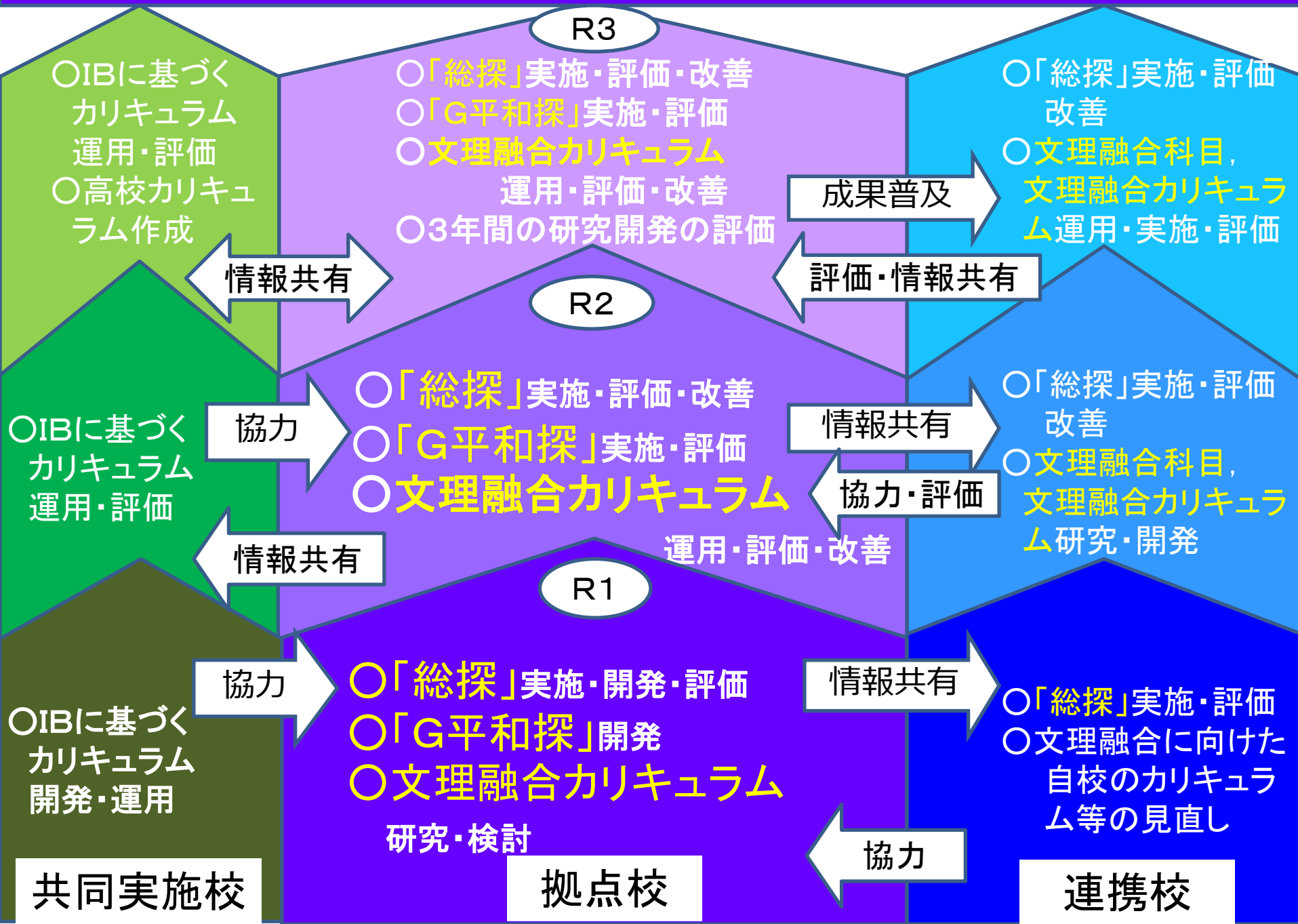
環境問題

理科(生物)

(4) 拠点校の教育課程

- 地理歴史科，公民科，理科の科目をできるだけ幅広く履修できるようにする。
- 学校が設定する資質・能力や「総合的な探究の時間」，「グローバル平和探究」と関連付けられるようにカリキュラム・マネジメントを行う。
- 外国語（英語）の4技能を高いレベルで習得する学校設定科目「グローバル・イングリッシュ」の開発。

(4) 拠点校の研究開発と共同実施校・連携校の関係



(5) 海外研修

語学研修・異文化交流



- 現地の高校生等と協働で探究活動を行う
- 事前調査を基に現地で実態調査を行う



(5) 高度な学びにアクセスする環境整備

○ 先取り履修

- ・ 広島大学, 県立広島大学から実施の同意
- ・ 内容, 条件等について協議中

○ 高度な内容を学習できる環境整備

- ・ [Stanford e-Hiroshima](#)

9月14日 (土) 事前オリエンテーション 実施

9月29日 (土) 開講



(6) 高校生国際会議の目的

- 「平和で持続可能な国際社会」の構築を目指す探究活動のプロセスとして

成果発表の場であるとともに、多様な考えをもつ者が集まり、議論を深め、さらなる探究の端緒となる場。

- イノベーティブなグローバル人材の育成のプロセスとして多様な考えをもつ他者と対話をして、新たな課題を発見したり、多くの参加者が集まる会議を運営したりすることで、育成を目指す資質・能力の発揮と更なる向上が期待される場。

(6) 課外活動

○ 高校生国際会議の企画・運営を担う生徒実行委員会の活動

(活動案)

- ・ 開催までのスケジュール
- ・ 開催プログラムの内容（大枠は予め設定）
- ・ 当日の運営体制
- ・ 資金計画と資金集め
- ・ 国際会議や他県の拠点校などを視察

(7) 広島ALネットワークの体制

運営指導委員会

指導・助言, 評価

プログラムの遂行

コンソーシアム
会議

- ・アドバイザー
- ・大学関係者
- ・拠点校校長
- ・県教委

方向性決定

拠点校,
共同実施校,
連携校等
連絡協議会

- ・関係校校長/担当者
- ・県教委

実務連携
研究協議

カリキュラム
開発会議

- ・アドバイザー
- ・大学関係者
- ・拠点校担当者など

カリキュラム
開発

(7) 研究開発等の体制

研究開発の対象	実施主体	指導・助言等
「総合的な探究の時間」	拠点校	カリキュラム・アドバイザー 共同実施校, 連携校
教科融合科目等	共同実施校 連携校	拠点校, 共同実施校, 連携校 カリキュラム・アドバイザー
外国語と文理教科の融合科目	拠点校	広島大学 カリキュラム・アドバイザー 共同実施校, 連携校
海外研修	管理機関	海外交流アドバイザー

○ カリキュラム・アドバイザー 株式会社キャリアリンク 若江 氏

○ 海外交流アドバイザー

一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト(GiFT) 木村氏・花村氏



御清聴ありがとうございました。